

8 センタールーフの重ね葺き工法

8-1 安全にご使用いただくために

センタールーフを安全にご使用いただくため、施工前に必ずお読みいただき、正しい施工を行ってください。なお、この製品は専門施工が必要なので、工事は必ず屋根専門工事業者様にご依頼ください。また、センタールーフを屋根材以外の用途には使用しないでください。

センタールーフは、住宅などの屋根材として十分満足していただける品質を備えておりますが、耐久性や耐候性などの諸機能は、正しい施工（標準施工）を行うことによってはじめて発揮されるものです。従って、必ず正しい施工（標準施工）を実施していただくようお願いします。



死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

- 強風・雨天・降雪・雷鳴時は、施工しないでください。落下および落雷事故のおそれがあります。
- 高所作業は関係法規に従って行ってください。事故のおそれがあります。
- センタールーフや金属製付属部材は電線などに触れないよう施工してください。感電のおそれがあります。併せて、高圧送電線が近くにある場合、事前に電力会社へ相談するなど、安全対策を講じてください。
- センタールーフの使用可能地域外では、不具合や施工上の危険をまねくおそれがありますので、使用しないでください。
- 雨や雪、露などで屋根面が濡れている場合は施工しないでください。滑り落ちるおそれがあります。
- 積雪のある地域では、落雪による事故を防止するため、雪止め金具をご使用ください。
- 屋根施工後は屋根面に乗らないでください。また、屋根材の上の歩行は極力控え、やむを得ず歩行する際は慎重な歩行を心掛けてください。底の硬い靴は使用しないでください。
- 屋根面にはむやみに端材や工具などの物を置かないでください。滑り落ち、怪我などのおそれがあります。
- 固定していない屋根材や付属部材などの上には絶対に乗らないでください。滑り落ちるおそれがあります。



使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損傷の発生が想定されます。

- 建築基準法、消防法に規定された建築用途、施工地域などを確認して使用してください。
- 動きやすい服装、滑りにくい履物など、作業に適したものを着用してください。
- 作業の際は、ヘルメット、滑り止め付き手袋や保護めがねなどの適切な保護具を着用してください。
- 工事期間中、毎日の作業終了後には、屋根面の清掃をしてください。
- 電動工具などの工具をご使用の際は、各工具の取扱説明書に従って正しく使用してください。また、その配線などには漏電しないものを使用してください。
- 釘打ち機はセンタールーフ釘打ち部を突き破るおそれがあるので使用しないでください。
- 梱包材、残材などは産業廃棄物として適正に処分してください。
- 屋根面に仮設足場を組む場合は必ず養生板を敷いてください。また、架台を組む場合は、取り付け架台のメーカーへご相談の上、汚れや雨水、異物の滞留がないようにしてください。
- はしごをかける場合は、当て木を使い、かつ、滑らないように固定してください。また、登り降りの作業は2人で行ってください。
- 施工中は仮設足場から屋根面へ飛び下りたり、物を落したりしないでください。破損などが生じ、雨漏りなどの不具合の原因となります。

8-2 運搬・保管時の注意事項

- センタールーフの保管は原則屋内の水平な場所とし、必ずパレットまたは飼い木の上に載せてください。飼い木の間隔は1m以下としてください。（8段積み以下）立て掛け保管は反りの原因となります。
- 水漏れの可能性のある施工現場などでは、防水用のシート掛けをしてセンタールーフが濡れないようにしてください。
- 保管中は変形防止のため、重量物や人が乗らないようにしてください。輸送中は損傷しないようにしてください。
- 持ち運びの際は、1枚の時もケースの時も小端立てして両端を2人で持って運んでください。
- ロープで吊り上げる場合は2点吊りとし、吊り上げる時はワイヤー掛けなどでセンタールーフが損傷しないようにしてください。
- 吊り上げ作業中は、構造物や樹木に接触して変形、ひっかき傷などが生じないように注意してください。
- 屋根上に仮置きする場合は落下防止のため、滑り止めの栈木を仮打ちしてその上に置いてください。（仮打ちで生じた孔はシーリング材などで補修してください。）また、風のある時はあおられて飛ばないようにロープなどで結束して固定してください。
- 梱包のPPバンドは持たないでください。